

女神の降る里

AKANE COMICS

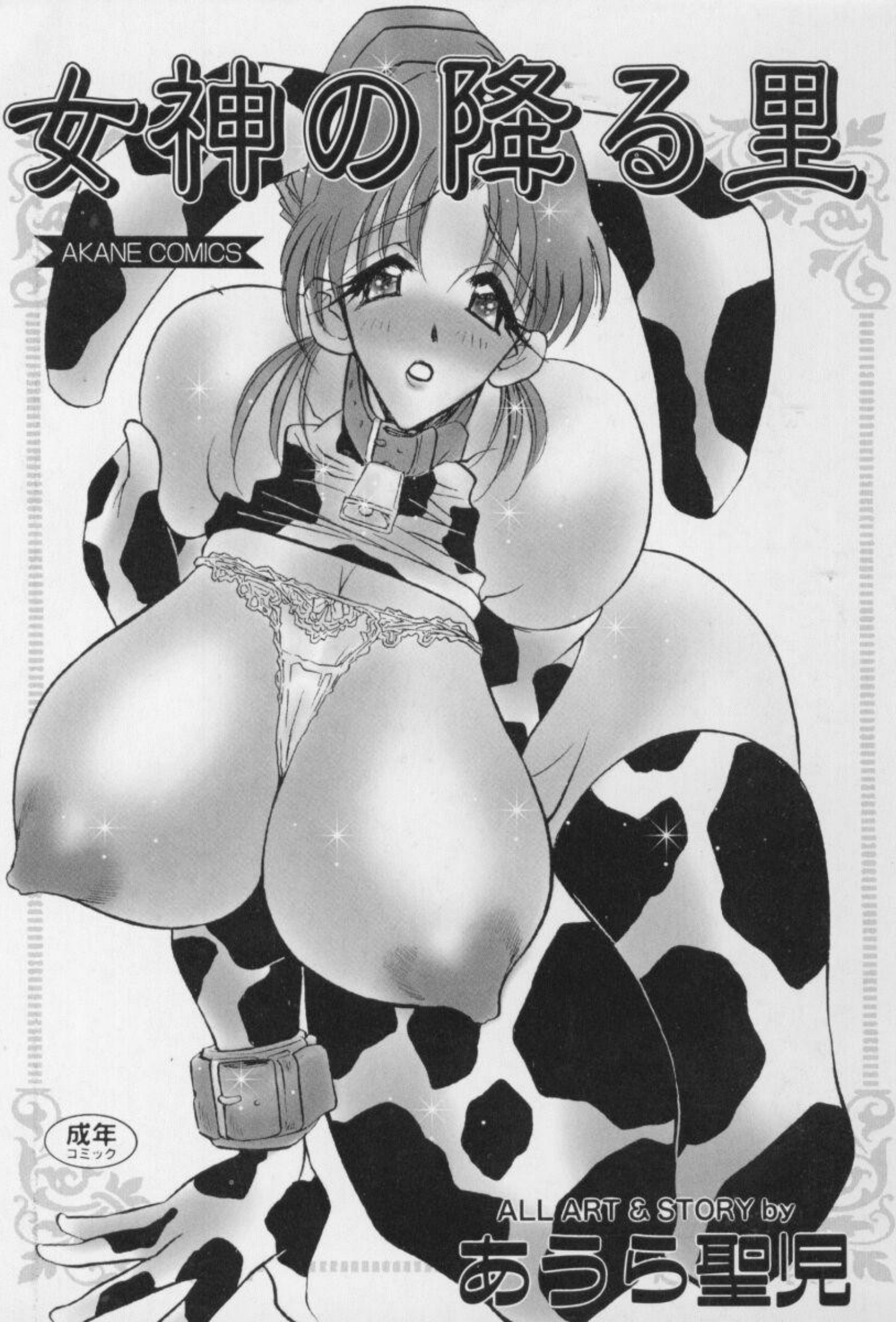
成年
コミック

ALL ART & STORY by
あうら聖児



女神の降る里

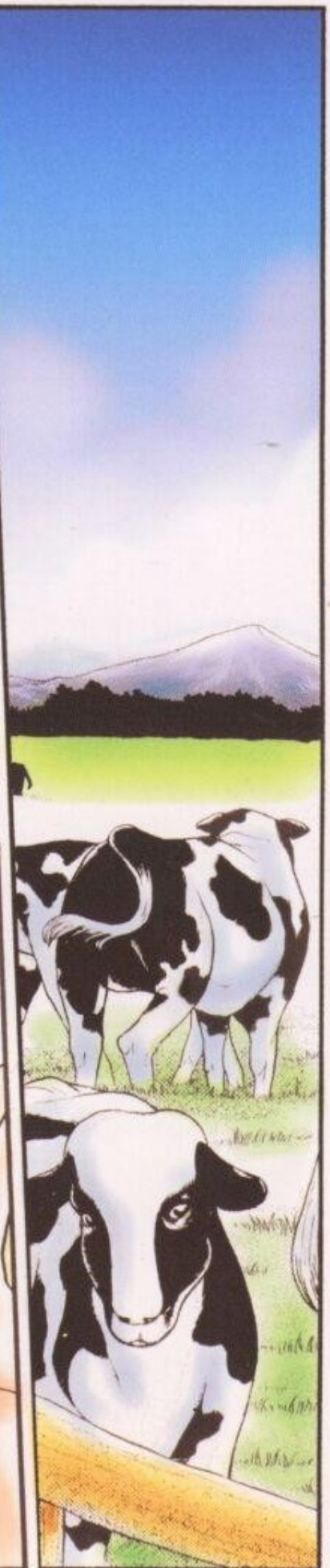
AKANE COMICS

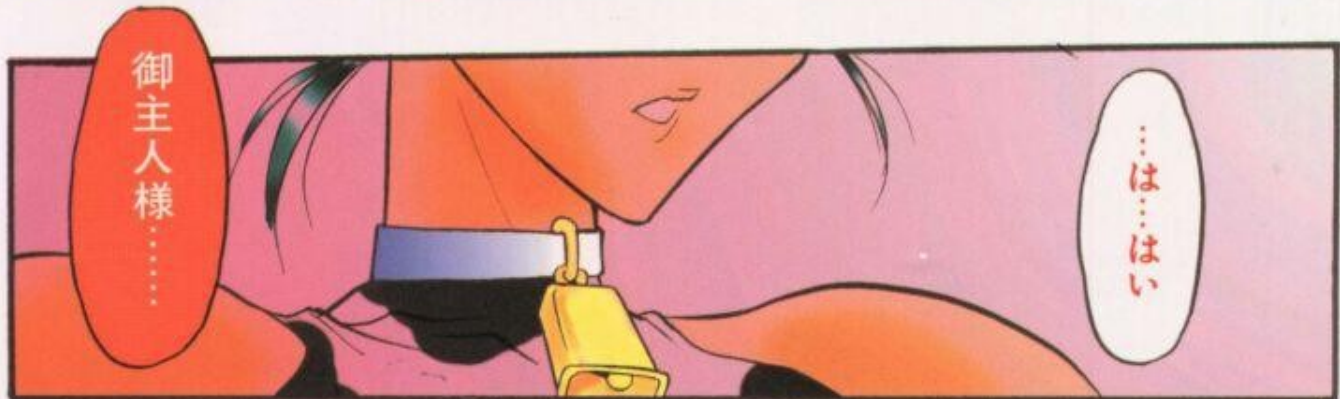
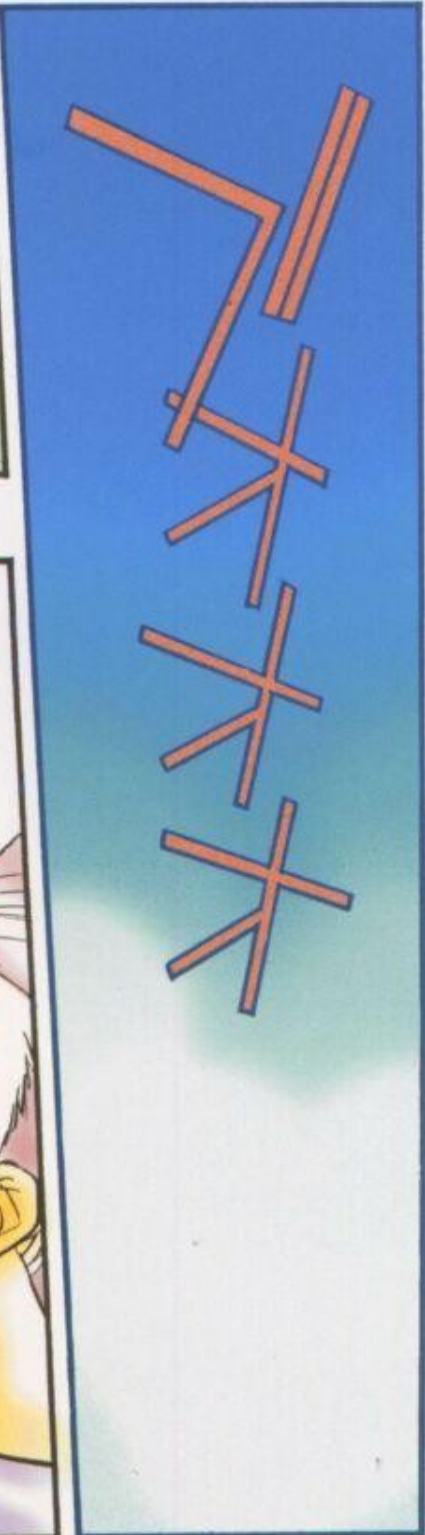


成年
コミック

ALL ART & STORY by
あうら聖児

女神の降る里





女神の降る里

1





それじゃあ
メス家畜の
お披露目会場に
向かうとするか……

ふっふっふ……



あ……あの
待ってください
……

その前に……
ど……どうか
新しいパンティを
……

フフ……
どうした……

さすがに
メス家畜といえど
五日も履き続けた
パンティでは
気が引けるか……

ふっふっ……
まあ
メス家畜には
下着を自由にかえる
権利などないからな

なにしろ
お前の下着は
ワシらで
取り上げて
しまったからのお

フフ……

いいか……今日は
このまま行くんだ

性処理用の
メス家畜としての
ありのままの
お前を
見てもらえ……

は……はい……

道宮畜産試験場



それにしても
今日は一体
なんの集まりだ
こんな夜中に……

さて……

なんでも
徳さんが
「新種の牛」を
見せてやるから
集まってくれ
らしいが……

フフ……

まあ
見てみりや
一発でわかるわ

ホレ……来たぞ
よくその目で
確かめろや



おう……
待たせて
すまなんだの……

それじゃあ
紹介しよう……
こいつが
新種のメス牛……

性処理用の
メス家畜の
鈴子じゃ





ど……
どういこうった
こりゃあ……

なんで
隆志のトコの嫁の
鈴子さんが……

クツクツク……

カン違いするなよ
あそこにいるのは
隆志の嫁じゃねエ……



この村の……
いやワシらの
性処理用の
メス家畜じゃ

まあ
驚く気持ちも
わかるがな……
ワシらも初めて
紹介された時は
腰を抜かしたもんさ

なにしろ村でも
評判の嫁さんの
鈴子さんが
首輪つけて
メス牛として
現れたんだから……

……

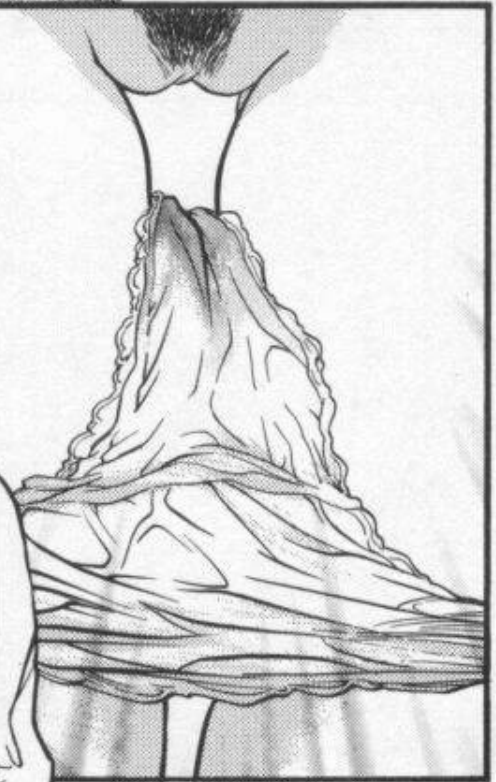
ふふ……
安心するがいい
鈴子は立派な
メス家畜だ

その証拠に……
鈴子……パンティを
おろしなさい……

は……はい……

こ……これで
よろしいですか
御主人様……

ずる……



どういこうこった
これは……？
なんでこんな
パンティを……

フフ……
メス家畜には
パンティは一枚で
十分だからな……

鈴子が持っている
パンティは
すべてワシらが
没収したのよ

鈴子には
汚れたパンティを
覆きかえる
自由すら
与えておらん

最後に
覆きかえたのは
確か五日前
だったな

ああ……

それ以上
おっしやらないで
………

よく
鼻を近づけて
嗅いでみるといい

この女は
こんなパンティを
覆いて昼間
出来のいい嫁を
演じていたんだ

ううっ……
たまらねエ……

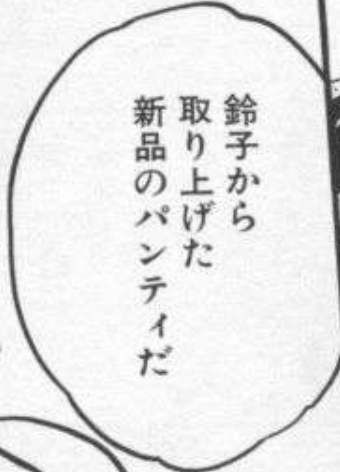
こいつは
まさしく
メス家畜の
ニオイだ……

おはー
おはー

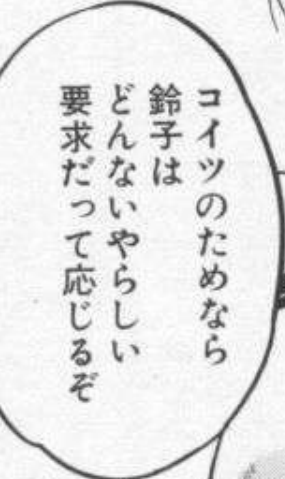


ああ……
何日も覆きっぱなしの
パンティを
人前にさらして
いるなんて……

私……もう
本物のメス家畜
なんだわ……



鈴子から
取り上げた
新品のパンティだ



コイツのためなら
鈴子は
どんなにやらしい
要求だって応じるぞ



ふんふん……



ワシらの
性処理の
メス家畜だ

ああ……
ここに居るのは
近所で評判の嫁に
よく似た……



徳さん……
ホ……ホントに
その……
いいんだな



は……はい……

新しく
加わった
御主人様
におねだり
してみろ……

ほれ
鈴子……



わ……私は
皆さんの
性欲処理のために
品種改良によって
作られたメス牛です

新しいパンティを
いただくためなら
どんなコトでも
致します……
どうかかわいがって
ください……

女神の降る里



ホレホレ……
もつと気合い入れて
しゃぶらんと
パンティはやらんぞ

クツ……
ワシはもう
いきそうだ……
このいやらしい舌使い
たまらんわい……

それじゃあ
取りあえず
一発目はみんな
口の中に
注ぎ込んでやるか

オイ……メス牛
口を大きく
あけるんだ

は……はい
御主人様……

一気に
飲み込むなよ……
牛のように
反芻するんだ……

十分に味わったら
次は大きく
股を開いて
おねだりしてみろ

どうだ？
ワシらのサーメンの
味は……？

はい
とっても
おいしい……です
……

はい……

み…皆さんの
おいしいザーメンを
こ…今度は
このメス牛のココに
……………

思う存分
流し込んで
くださいませ……

ふふっ
徳さん……

鈴子のヤツ
もうすっかり
メス牛としての
自覚が出てきた
みたいだの



ゾッ

ゾッ

全くだ……



ゾッ





へえっへへ……
こりやええわい……

これからは
毎晩こうして
かわいがって
やるからの

それにしても
なんてえ乳だ……
まるで本物の
メス牛みてえだ



ああっ……

ありがとう
ございます……

どんな
いやらしいことでも
喜んでしますから……
ですから
パンティを……



へへっ
わかつとるわい
……

それにしても
……

幻滅するわな……
まさかあの
鈴子さんが……

まさかパンティを
覆きかえる
自由すらない
メス家畜だったとはな!!

ああっ……

そんなこと
おっしやらないで

かかん!!

もう
ガマンできねエ……
ワシもケツの穴に
入れてやる

ぬ!!

ぬ!!

ああっ……

オウオウ
そりやええわ
お前もフチ
込んでやれや



ああっ……♡



へへ……
メス牛には
ザーメンミルクが
お似合いだ

ほらよ……
ご褒美の
パンティだ



あ……ありがとう
ございます……

フフ……徳さん
どうやら
身も心もメス家畜に
なったみてえだな……



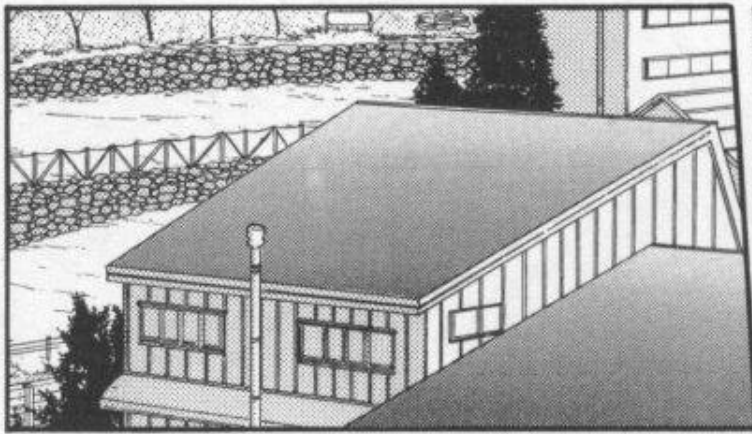
なあに……

まだまだ
これからよ
……



女神の降る里②



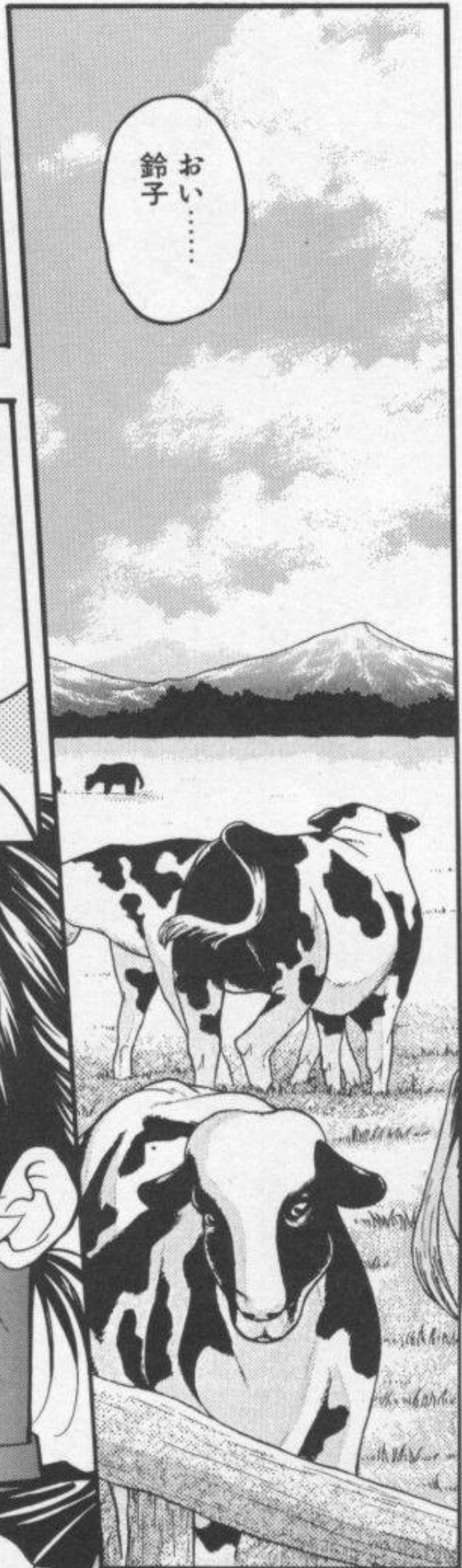


おい……
鈴子



手紙が
来てるぞ……
外人さんからかな
……

ほら……



あら……

大学時代に
一緒だった
ソフィからだわ

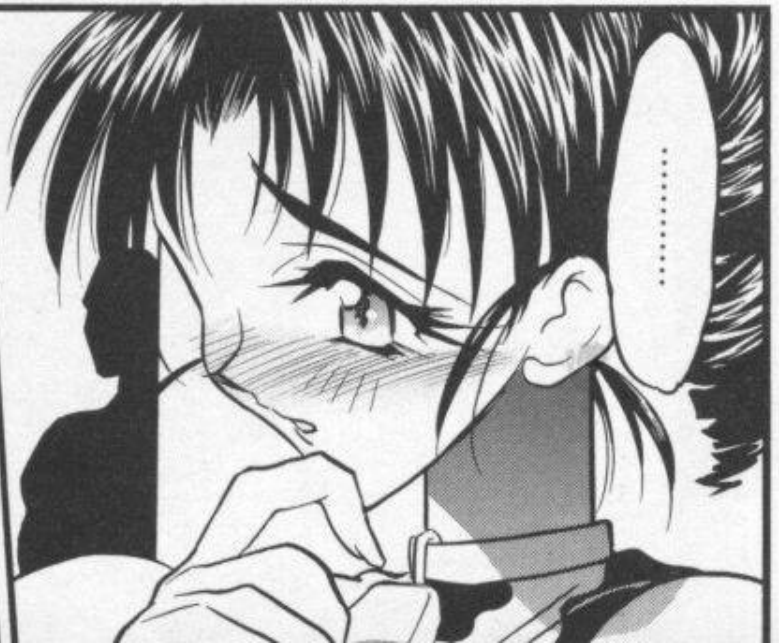
へえ……
お友達？

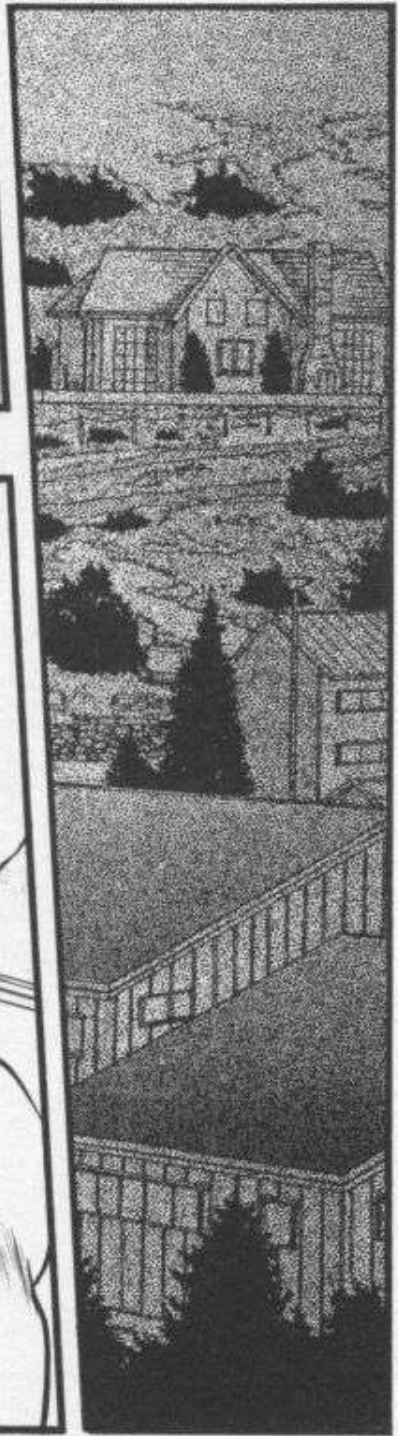
ええ……
この間
手紙を出したら
久しぶりに会いたいから
遊びに行っても
いいかですって

もちろん
勿論
OKだよ

久しぶりに
積もる話も
あるだろうし……

え……ええ……





フフ……
それじゃあ
そろそろ
行くとするか

は……はい……

御主人様……



あの夜以来——
私は30人近い方々の
性欲処理をする日々が
続いているのです……

それまでは
私のメス家畜
としての姿は
義父の知人の
7・8人だけ
だったのですが

女神の降る里



おうおう
今日も
よお集まっとる
ようじゃの……

ほれ……
いつものように
挨拶せんか……

は……はい……

早朝からの
牛の世話のために
夜 早めに寝てしまっ
夫は知らない
私のもう一つの顔……

こ…今夜もいやらしい
メス家畜のために
お集まりいただき
ありがとうございます
……



クッククック……
わかってるさ……
この新しいパンティが
欲しいんだろ

この前 かえて
やったのは……
確か10日以上前
だったかな……

フフ……
そんなにクツキリと
シミの付いた
パンティを履いて
恥ずかしくないのかい？

ああ……
おっしゃらないで……

そう……
この村のメス家畜と
なった私には
女性として最低限の
『汚れた下着をかえる』
自由すらないのです……



ほら…鈴子
いつまで胸を
隠してるつもりだ

早く
そのメス牛なみの
デカイ胸を
披露せんか



は…はい……

皆様……
どうぞ
御覧ください……

へっへっへ……
なんだあ……
この品のない胸は
………
何だか
このごろますます
いやらしさに
磨きがかかって
きたような……

ああ……
知り合いの医者に
頼んで胸に
ホルモン注射を
してるからな……

どうせなら
徳さん……

いつそのこと
母乳ミルクが出るような
ホルモン注射も
一緒に頼んじや
どうかね

フフ……
そいつは
面白いな……
考えておこう……



ああ……
そんな……もう
許してえ……

オイオイ……
メス家畜のくせに
口答えか……



そんなことじゃ
今日も
新しいパンティは
お預けだぞ



ああっ……
ごめんなさい……
もう口答え
しませんから

どうか
それだけは……

さすがのメス家畜も
こんなに汚れた
パンティはイヤか？

確かに
こうして嗅いでも
相当キツイ
ニオイじゃからのう
……

ぬっ

ぬっ
ぬっ



へへ……
パンティが欲しけりや
心をこめて
奉仕するんだな

それじゃ
入れさせて
もらうぞ……

あひっ



あ♡

くっ……

あ……♡

っあ

ひっ……

ひっ……

っ
ああ

ああん

まったく……
まるで本物の
メス牛だな……

こんなに
デカイケツを
振り乱しおって
……

あんっ

は……はい……
ありがとうございます
……

はっ

はっ



ほっほっほ……
まったくたまらん
具合だわい……

ほれほれ……
もつと腰を
くねらせんか……

今夜も
徹底的に犯しぬいて
やるからな……

あ……
ありがとうございます
ございませう~~~~

へへ……
体中に
ワシらのニオイを
なすりつけてやる

ぐわ
ぐわ



っああ

っふ……

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん



ほれほれ……
次はワシじゃ

くうっ

休んどるヒマなぞ
ないぞ……

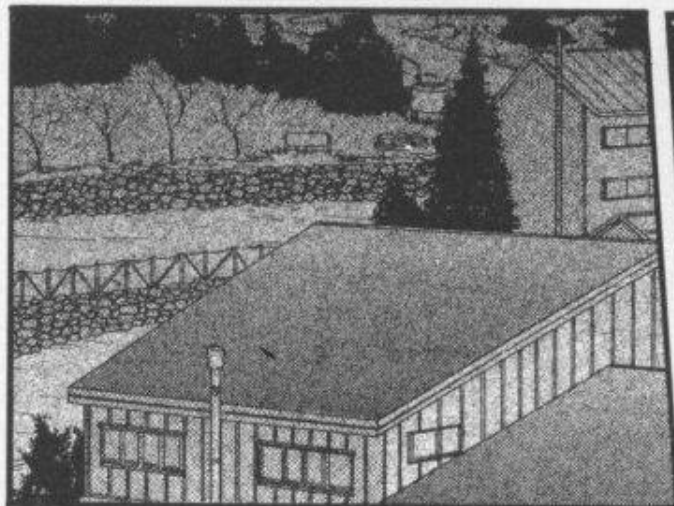
ぬろ


つく…!!

なんじゃ……
この程度で
気をやりおって
……

こんなことじゃ
新しいパンティは
やれんな……
まあ……また明日
頑張ることだな

女神の降る里

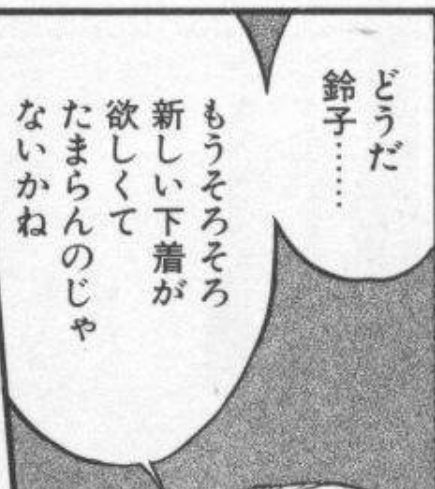




また…今日も
新しいパンティを
もらえなかった
……



女神の降る里





そ……
そんな……

パンティのために
友人を……ソフィを
売れとおっしゃるの
……

フフフ……
これは命令では
ないさ……

選択は
任せる……
考えておいて
くれ……

あ……

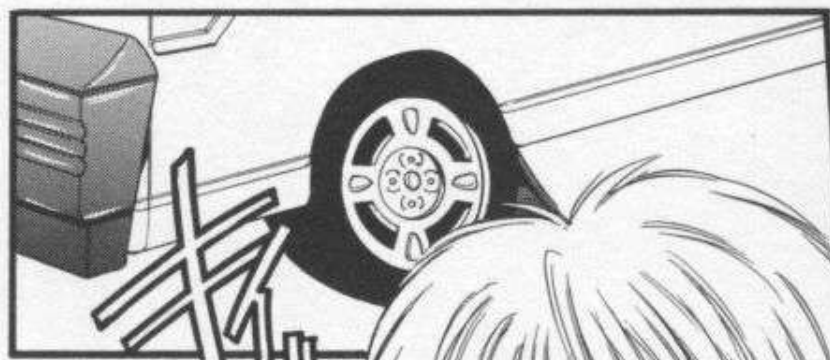
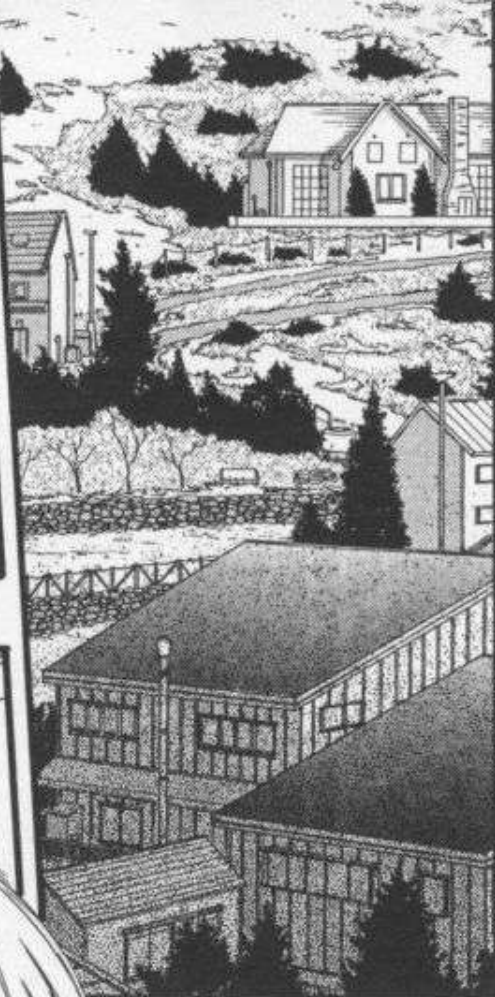
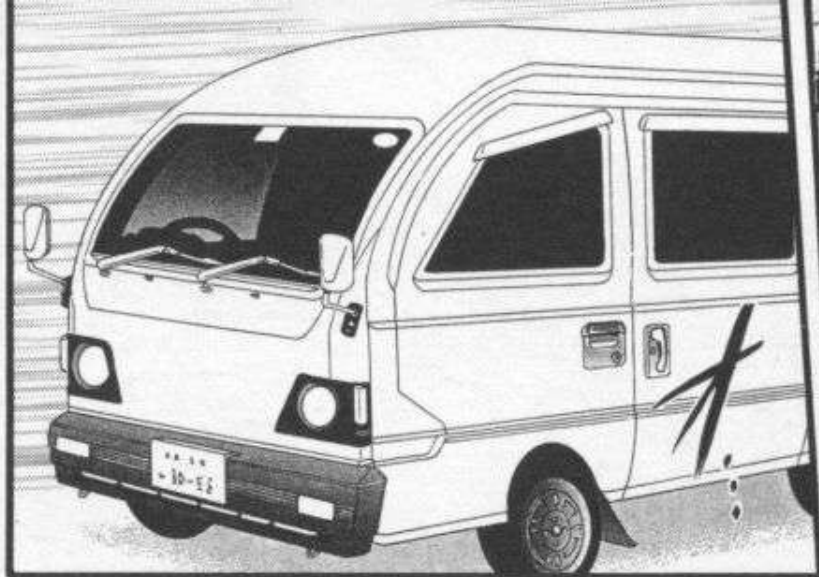


ああ……そんな……
どうしたらいいの
ソフィ……



女神の降る星③



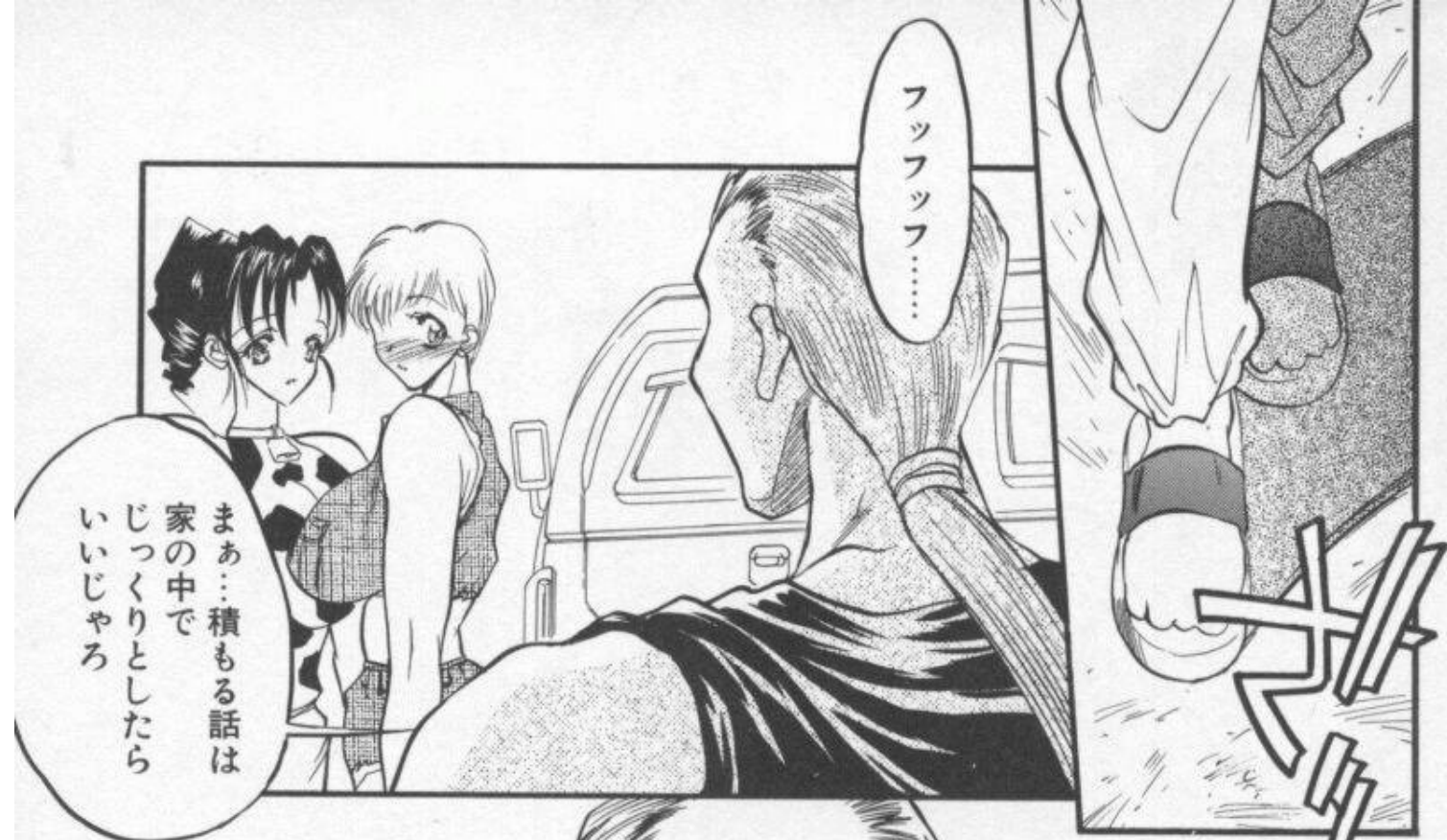


鈴子~~~~
久しぶりデス♡

Hi!!







まあ…積もる話は
家の中で
じっくりとしたら
いいじゃろ

フッフッフ……

ソフイさん……
でしたかな……
ウチの鈴子とは
大学の頃の
お友達だそうで……

どうか
しばらく
我が家に泊まって
いってくださいな

ハイ……
ご好意に
甘えさせて
もらいます



……



ニコッ

おお：そうじゃ
ソフイさん
風呂でも入って
汗を流してきては
どうかね？

鈴子さんと
一緒に……



え……？

ええ……

そうさせて
いただきます♡

キラッ





フフッ……

どうしたの
鈴子……
早く脱いで
お風呂に入りましょ



えっ……ええ……



ああ……
御主人様の
命令とはいえ……

ソフィを
私と同じ
メス家畜に
するなんて……

どうしたの？
なんだか
他人行儀ネ……

ううん……
そんなことないわ

それより……
また胸大き
なったんじゃない
ソフィ……

ウン……
そうなの……
重くて困っちゃう
……

まるで
メス牛みたいだって
よく言われるわ

そ…そうね
私もメス牛みたいな
胸だって
よく言われるわ……

フフ…♡



鈴子……
昔はよく
こうやって一緒に
入ったわネ……

え……ええ……

!

.....
鈴子ったら
結婚しても
全然スタイル
変わらないのネ

ううん.....
むしろ体の線が
いやらしくなった
みたい.....

だ...駄目よ
こんな所で
.....

フフ.....
あの頃のように
もう一度
楽しみましょ.....

だ.....
駄目よ
ソフィ.....

だ.....

め.....





許して
ソフィ……

ああっ……

は

は

ふふっ♡

昔はよく
こうやって
体を洗い合ったり
したものよネ……

は



いけないわ
こんなこと……

む

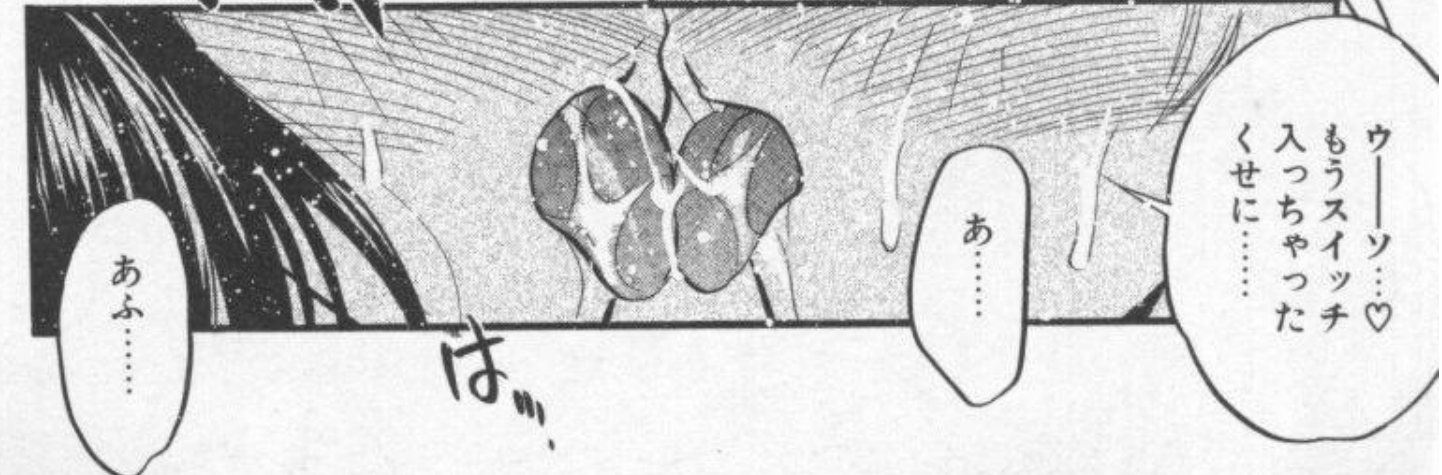
は

な

は

は

に



あふ……

あ……

ウーッ♡
もうスイッチ
入っちゃった
くせに……

は

アア……

相変わらず
感じやすいのね
鈴子……

ほら……
もうこんなに
濡らしちゃって
……


ああっ……

ンフン……♡
ココに毎日
ダンナさんのザーメンを
流し込まれて
いるのネ……

もう……
いやらしいん
だから……

だ…駄目え……

いけないわ……
ソフィ……



違うわ…ソフィ……
私はもう
何十人もの御主人様に
毎日ザーメンを
流し込まれる
メス家畜……

性処理用の
メス家畜なの
……



お……

お義父様……!!



女神の降る里



あぁっ
.....

ダメ.....
あの目には
逆らえない
.....



ソフイ.....
いいことを
思いついたわ
.....

?



どお…？
二匹のメス牛が
交尾するなんて
素敵でしょ？

ああ…♡

おん…
おん…

おん…
おん…

おん…

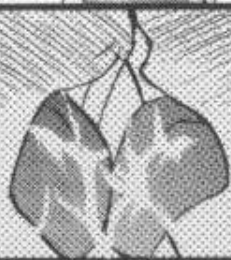
おん…
おん…

おん…
おん…

ああ…
ソフィ…

素敵よ
鈴子…

は… は… は…



ああん♡

二匹のメス牛の
プッシーが
こすれ合って……

とろけちやいそお……♡

はあん……

あ……

ああ……♡







新しい
パンティが
…!!



!?

それにしても
驚いたわ……
鈴子がこんなに
Hに積極的
になるなんて

ソフィったら

い……いやねエ

女神の降る里③ / おわり



ねエ……ソフィ……
今夜一時……
お義父様の離れまで
来てもらえるかしら
……

え……?



?

あなたにも……
メス牛……いいえ……
メス家畜の
素晴らしさを
知ってほしいの……

女神の降る里

4







ふふ……
待たせたな……



何度見ても
たまらねエ乳
してやがる……

クックック……

!?

鈴子……!!?

さあ…鈴子…
四つんばい
になって……

今日
来ていただいた
皆さんに
ご挨拶だ……

はい……

鈴子は
皆さん専用の
性欲処理用の
メス牛……です……



一体これは
どういうこと
なの…!?

な……
なんてこと……!!

今夜も
鈴子のこの
牛のようなおっぱいで
御奉仕いたします

その代わり……
どうか皆さんの
ザーメンミルクを
そそぎ込んで……
ください……

へへへ……
お望みどおり
たっぷり
かわいいがって
やるわ



ところで鈴子
先週からの
「宿題」は
どうなった…？

先週からは
昼間も時間の
許す限り
奴隷としての務めを
果たすことにな
ってたよな……

は…はい……
御主人様……
おとといは六人……

き昨日は
八人の方々に
犯していただきました
……

そ……
そんな…!!

おとといは
主人を牧場へ
送り出して
すぐ……

ご近所の
方々が見えて
三人がかりで……

女神の降る里



玄関で
立ったまま……
代わる代わる
犯していただきました
……

その後……
近所のスーパーの
トイレに
入ろうとした
時にも……



お口と胸で
奉仕した後
……

皆さんの
ザーメンミルクを
そそぎ込んで
いただきました……

清掃中

そして……
昨日は
ママさんバレーの
練習の後……



あ……



当番で
一人残って
後片づけを
していたら……



もつと
メス牛らしい
大きな胸に
なるようにと

二時間以上
徹底的に
いじめぬいて
いただいたうえに
……

履いていたブルマを
胸にはめられた後
八人もの御主人様
全員に……



ザーメンを
そそいで
いただきました
……



ふふ……



もぞもぞ



そ……そんな
……

そうよ…ソファイ……
今の私は
身も心もメス家畜に
なってしまったの……

ふふ……
よくやった……
今夜もたっぷり
かわいがって
やるからな

はい……
御主人様……♡

それじゃあ
まずは
ワシからいかせて
もらうわい

へへ…ワシは
こっちだ……

どんな
いやらしい命令にも
嬉々として従う
性処理用の
メス牛なんだわ……

ああ……
どうしてなの……？
目が離せない……

こんな光景
見たくないのに……
目をつぶることも
できないなんて……



くっく……
まったくメス牛とは
よく言ったもんだ……

なんじゃ
色っぽい声
あげおって……
そんな
気持ちいいのか……?

はあっ……

は……はい……
気持ちいい
ですう……

あ……

やああ
……



女神の降る里



義父に
メス奴隷として
調教され……

昼も夜もなく
ありとあらゆる
いやらしいことを
求められ……

自ら
腰をくねらせて
よがっている……

これが
今の私……
メス家畜の
私なのよっ……!!

あ……

っく……♡

ああっ……

くたさいい……
もっとお……

たふん

たふん

っあ

ああ……

ほらほら……
お望みどおり
くれてやるぞ……

っは……

も……も……
も……と……

体中に
皆さんの
ザーメンミルクを
くださ……いい……



あ

ほれっ……
そのデカイ胸で
受けとめろっ……

……



どうだね
ソフイさん……

メス家畜の
素晴らしさを
わかってもらえた
かね…?

ふっ……
ふざけない
でツ!!

あなた一体
自分が何を
やってるか……



★女神の降る里④／おわり



う……



これはこれは……
しつげがいの
ありそうな
ホルスタインだ……

ふふ……

ニヤッ……



女神の降る星 ⑤

あれから半年——

おめでと——

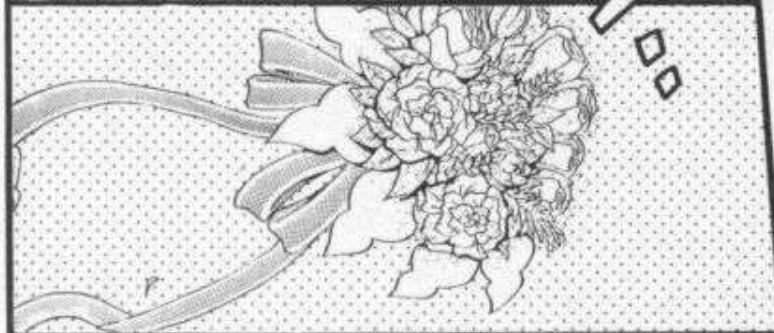
お幸せに——

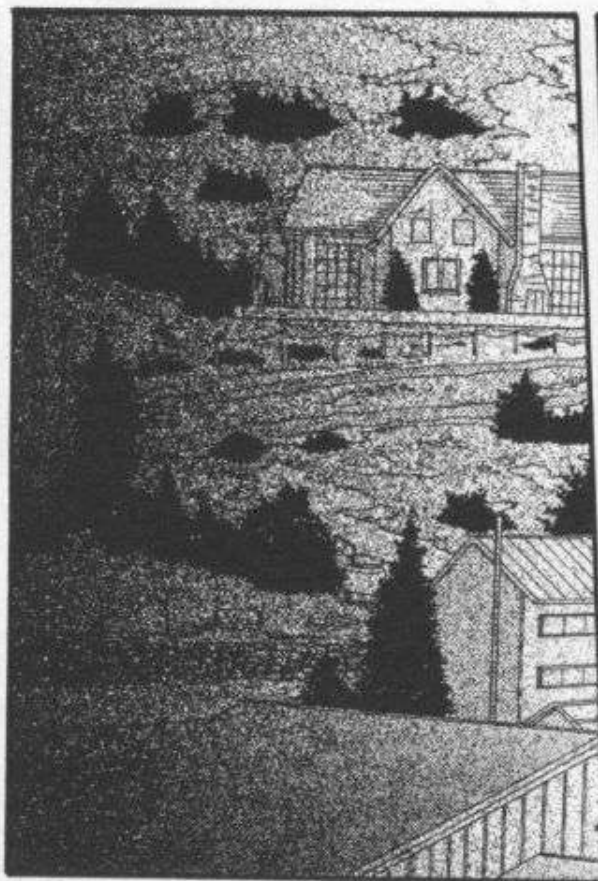
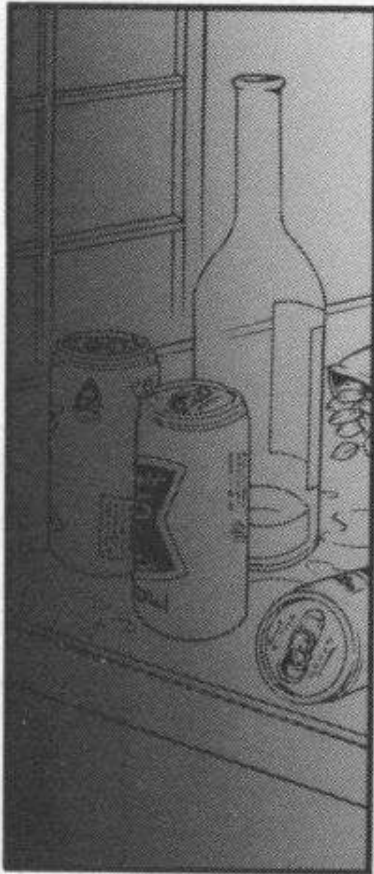
ニコ

いや——

それにしても
まいったなあ……
まさか親父の
再婚相手が
ソフイさんだなんて
……

いつの間に
こんなことか
なってたんだか
……





そりやないよ
も——っ……

ふふふっ……♡



んかー

かっ



もう一度
教会に
向かうとするか……

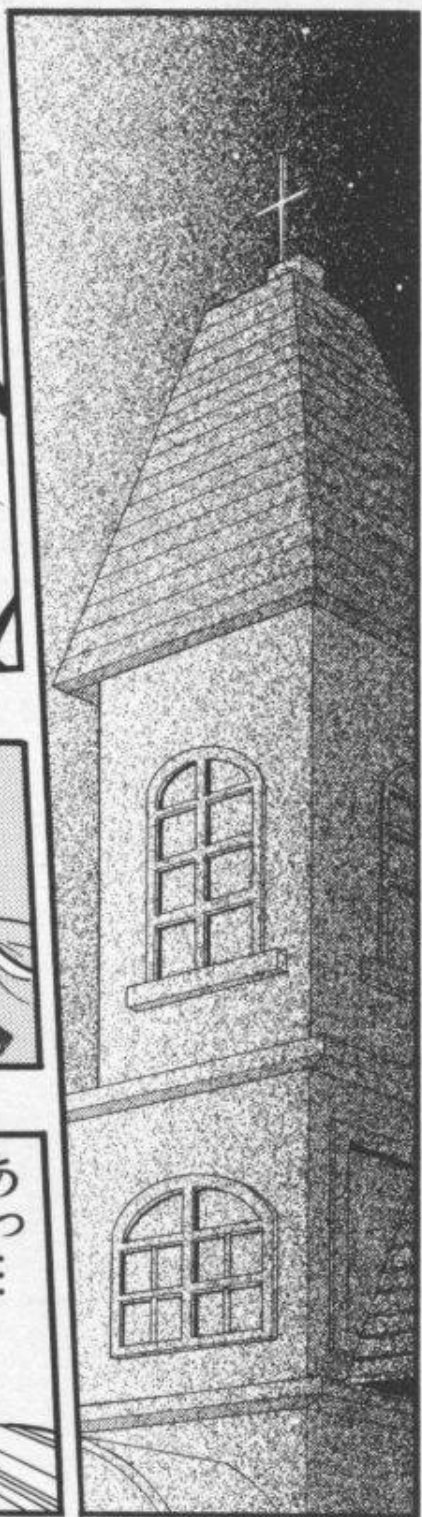
今度は
神の前で……
メス家畜としての
誓いを立ててもらおうぞ
……

はい……

御主人様……



さてと……



おい…
これは一体
どういうことだい
……………

こんな
真夜中に…
しかも男だけに

ぜひ紹介したい
珍しい牛が
いるだなんて……



クツクツクツ…
なあに…
わしらの
知りあいの美女に
よく似た
メス牛だつて
ことだよ



あつ…
徳さん……

待たせたな……

それじゃあ
みなさんに
紹介しよう



ワシらのメス奴隷…
メス家畜の
鈴子とソファイを…!!

ええっ!!

メイト



なっ…!!?

こ…これは
一体…!!?



女神の降る里



う…うそだ…
村でも
理想の奥さんの
鈴子さんと……

今日の昼間に
ウェディングドレスを
着ていた
ソフィさんが
まさか…こんな……



ふふ……

鈴子…ソフィ…
さっき教えたとおり
その上にあがって
メス牛の誓いをするんだ

私…高野鈴子と……

ソフィ…ウエストは
………

性欲処理用の
メス牛として
ここにいるみなさんに
奉仕することを
誓います……

は…はい……

オオオオ

ひとつ……

私たちは
みなさんの
ザーメンミルクを
注ぎ込まれることを
無上の喜びとし

夫の目の
届かない所であれば
いついかなる時でも
……

四つんばいになって
みなさんの
性欲処理に
つとめることを……

誓い……ます……



ひとつ……

私たちは
メス家畜で
あるという自覚を
常に忘れないために

身につけている
下着以外はすべて
没収していただいて……

奉仕のごほうびとして
新しい下着が
もらえるまでは
ずっと……

許可があるまで
汚れた下着を
覆き替えないことを
誓います……





ふふ……

それにしても……
よくソフィを
あそこまで
調教できたもんだな

なあに
それほど
難しくはなかったさ

まあ
もつとも……

今回ばかりは
多少なりとも
ワシのこの顔が
役に立ったがね……

?

そもそも……
鈴子とソフィが
レズに近い関係に
なったのも……

実は
同じマゾ奴隷としての
資質を持つ者どうしへの
親近感からだ

ワシは
最初から
見抜いていたのさ



その上……
ソフィのバッグの中から
こんな写真を
見つけてな……

自分の父親の写真と
家族全員が
写っている写真……

まあ
なにげなく見れば
なんてことない写真だ

?

だが
家族全員の写真を
持っている以上
父親のみの写真は
不自然——……

ということとは
愛情に近い畏敬の念
ファザーコンプレックスを
持つ相手の可能性が高い……

！
なるほど！！

マゾ奴隷としての資質と
ファザーコンプレックス……
この二つがあれば
あとはたやすい……

その上
彼女の父親と
ワシがそっくりだしな

あとは
鈴子の時と
同じように
……

体の自由を奪ったうえで
何十人もの村人が
入れ替わり立ち替り

彼女の体中を
徹底的に
なぶり続ける……

もちろん
責めるのは
イク直前まで……
決してイクことは
許さない……

その瞬間
喜びとともに
ソフィはメス奴隷としての
自分を認めたのさ……

これを延々
一週間にわたって続け
イキたくて
狂いそうになった時に
ワシが犯す……

う……うそだ……
この目で見ても
まだ信じられない……

みんなの
憧れの……

鈴子さんと
ソフィさんが
まさかそんな……

おい
誓いの証として
……

みなさんの
目の前で
放尿するんだ……
四つんばいでな……

はい……

御主人様……

どうぞみなさん
ご覧ください……

これが……
メス家畜としての
私たちの放尿スタイル……
です……



ふふ…どうした…
なにを遠慮
してるんだ？

新しい御主人様の顔に
尿を浴びせるような
メス牛を
放っておいて
いいのか？

さあ……

メス牛を
厳しく
しつけてやるんだ!!



ほらほら…
お前も
そうだ……

あんなに
汚れたパンティで
恥ずかしくないのか？



くっそ——っ！！
貞淑な人妻の
ふりしやがって
……！！

人前で
放尿する
メス家畜とはな！！



心配には
およばんよ……

フフフ……


徳さん…
いいのかい？
こんなに主人を
増やし
ちまって……

一部の人間だけで
秘密を隠しとおすのは
難しい……

ならば
いっそのこと
共犯者を増やして
『公然の秘密』に
してしまえばいいのさ

なにしろ
今回加わった中には
教師・村会議員から
駐在所の人間まで
いるからな……

村人の性欲処理を
一手に引き受けてくれる
美しいメス牛のためなら
進んで
協力してくれるはずだ



ホラホラ
もっと
ケツを
振るんだよ!!

あ……

まったく…
こんなにデカい
乳して恥ずかしく
ないのか!?

やあ……

これからは
毎日徹底的に
なぶり搾って
やるからな!!

ああっ……♡
もっ……
もっ……

もっ……もっ……
このいやらしい
メス家畜で……

みなさんの
性欲を処理して
ください……♡♡

あっ……♡

あひっ……♡

アッ……

アッ……

よし
それじゃ
最後は盛大に……

ふふ……♡

メス牛二匹に
まとめてたっぷり
ザーメンミルクの
ごちそうだ!!

ああっ…♡

ありがたっ
びびっもたっ
…♡♡





牛ばっかりで
退屈でしょ？
何もなくて……

ソフィさんは
もう
ここの暮らしには
慣れた？



ところでさあ……

女神の降る里⑤／おわり



ええ……



何を言っとるか……
牛にとつては
素晴らしい
環境じゃないか
なあ？



ここは
人間と家畜の
両方にとって
素晴らしい環境
ですわ……♡

毎日
美味しくて
濃いミルクが
いただけるん
ですもの♡





鉄拳娘の血が騒ぐ







あたたたた……

ドサッ

はっ



はっ



あ…
そーだ♡

プーン!



さつさと
襟元を直せ!
稽古を続けるぞ!!

なによー
ここまで雰囲気
つくってるのに〜



女子シャワー室



なんで
病院に行く前に
シャワーなんぞ
浴びなくちゃ
ならんのだ?

なあ…千鶴よお……

なによお
汗まみれのまま
病院に診察に
行けっというの？

だいたい
一人ぼっちの
拳法部の稽古に
無理やり付き合わせたのは
仙太郎でしょ

そんなコトより
早く
パンティ脱がせてよ

右腕が
折れてる上に
左腕もしびれて
使えないんだからっ

お...おう.....

ふふっ♡

さすがにこれは
仙太郎でも
意識してるみたいね



ち…千鶴
これっ…これで
いいの…かっ？



む…む…
む…む…

バカね…
女の子の体は
デリケート
なんだから
もっと
やさしく…

ウム…
す…すまん…
こ…こうか…？

ん…♡



これじゃ蛇の生殺し
というか……

う……っ
色っぽい変な声まで
出しやがって……



あ……

あ……



えっ

ね……ねエ……
仙太郎……
次は下の方も
洗ってくれる？

ち…千鶴の
ココを
腋のヒタまで

仙太郎のモノで
かき回して
洗ってほしいのっ
……

んなあっ!?



んもう…
これ以上
言わせないで……

せ…
仙太郎のモノが
欲しいのっ……

かあ





あ

仙太郎

それじゃ
いくぞ
千鶴……

ん……

あ

ふあ
……

ね…
仙太郎……

いっしょに…
いっしょに胸も
いじめてえ……

おう
おう

あ
あ

あ
あ

なぶってえ……

仙太郎の
なめ方
赤ちゃんみたい……

こ……こらっ
男を
からかうなよっ
……

こ
こんなもんか
……？

のる
のる

そういう
生意気娘には
こうだッ……

ダメえ……
そ……そんな
激しく
出し入れしたら

くっ

ひっ

ひっ

つふああ……

アソコが
めくれ
上がつちやうよお
……

あ

せ……

仙太郎お……

お……



——とまあ
そんなわけで
私と仙太郎は
両想いに
なつたわけですが……

あ……

はッ……

せい……

稽古中の
よそ見は
禁物よん♡

ねっ♡

★鉄拳娘の血が騒ぐ／おわり





好きなのに、好きだから



それじゃ
私は宿直室の方に
いますんで……

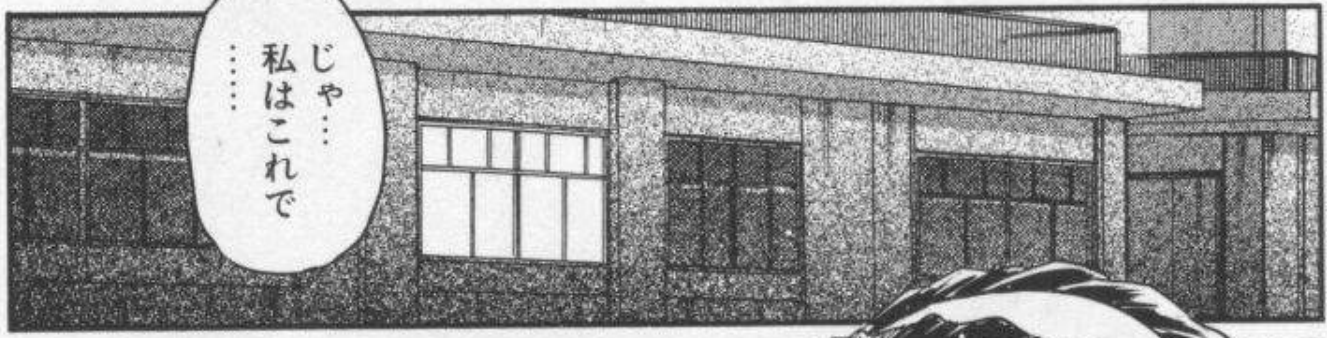
補習が
終わったら
ひと声かけて
ください

はい……

いつも
ありがとうございます
ございます



じゃ……
私はこれで
……



そ……
それでは
今から……

特別補習を
始めたいと
思います

もう
校内についている
明かりは
ここだけ……



ひっそりとした
校舎の中——
二人きりで
行われる
秘密の授業……

それじゃあ……まず
先週出した
宿題の答え合わせを
………

麻理子先生……
その前に
ボクから先生に出した
『宿題』の答えを見せてよ

え……ええ……

しゅん..

もう……ホントに
せっかち
なんだから……



ちやんと...

裕くんが
言ったとおり
.....

ちやんと
ちやんと



裕くんの作ってきた
張り形を
オッパイの間に
挟んだまま
一週間過ごしてたのよ

もう...
いつ人にバレるんじゃ
ないかと思って
ヒヤヒヤしたんだから♡

おっぱい



落ちないように
両腕でオッパイを
一生懸命
寄せてるトコなんか
なかなか
可愛かったよ♡

この一週間は
みんなの視線が
痛かったんじゃない？
生徒だけじゃなくて
同僚からも……



なっ……何よお……
も……
ホントにH
なんだから……

だいたい
どこの世界に
自分のモノを型取りした
張り形を
担任にプレゼントする
生徒がいますかっ

でもさ……
まさかとは
思うけど……

それ使って自分で
慰めたりは
してないよね？

え……

えっ……？

ボクの主義で
卒業するまでは
ソーニユーなし
だもんね……

ふふ…
麻理子先生…
この一週間
この張り形使って
何回自分で慰めた？

それは……

その……

ホラホラ…
ちゃんと本当のコト
言わないと
今日は何もナシに
しちゃうよ

かあああ…

又も

毎晩…
寝る前に
してたわ…

あと…
どうしても
ガマンできなくなって
学校の教員用トイレで
4・5回……

好きなのに、好きだから



男なら誰でも
先生のバイズリを
経験したら
夢中になると思うよ

ハリがあつて
ムチムチした
弾力があつて……

それに……
ステキだと
思いません？
いつもの教室で
大股広げて――

教え子の生徒に
自分の胸を
性器として扱われ
汚されるなんて……

いやあ……



それじゃ
入れますよ
麻理子先生……

え……ええ……



ね…ねエ…
なんだったら…その

先っぽを
出してくれた方が
舐めたりとか
イロイロできると
思うんだけど…

いいんですよ…
こっちの方が

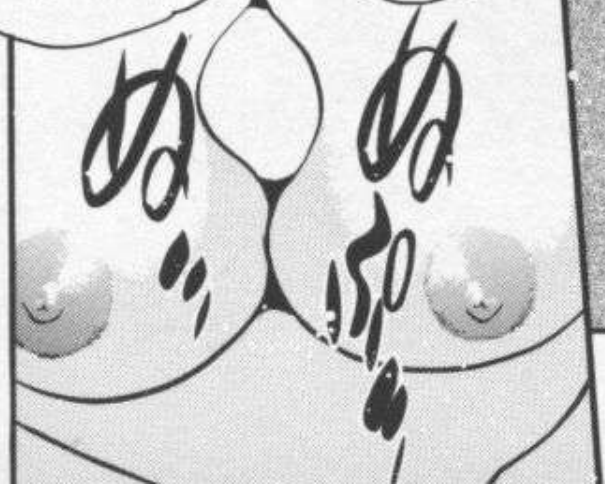


えっ…!?



ボクは
胸の谷間に
挟まれるのが
好きなんじゃなくて

「入れる」のが
好きなんです♡
その方が性器に
ふさわしいでしょ?



ああ…
このコにとっては
今のコレは
パイズリなんかじゃ
ないのね……

自分の熱いモノを
突き入れて
文字とおり私の胸を
犯しているんだわっ!!

ああ…ダメえ…
そんなコトを
考えているだけで
濡れてきちゃう……

どうしたんですか？
先生…
もっと両腕に
力を入れて下さいよ

性器の締まりが
悪いなんて
恥ずかしいですよ

なんてったって
先生のその大きな胸は
いやらしい性器
そのものなんですから……



でも…
ボクばかり
気持ちいいのも
なんですから…

さつきから
濡れ出してきてる
先生のココには
コイツを
入れてあげますよ

あつ…
そんな…

ググ
ゴクゴク

フフ…
よく似合ってますよ
麻理子先生…♡

ああ…
いやあ…

それじゃ
続きといこうか
ちゃんと『膣出し』まで
いくからね♡

え……ええ……

あっ……

ああっ……つま先で
微妙な振動を
与えてるう……

しかも…
円を描くように
こねくり回しながら
膣全体を
刺激してっ……

これじゃあ
まるで胸とアソコ…
二カ所同時に
犯されてるみたいだわ……



ああっ…
もうダメ…
声を抑えられない
……

あッ……

やあ……

フフ…
どうしたんですか
麻理子先生……

息が荒いみたい
ですね……

あッ……

あ……

それじゃ
こっちも少しずつ
激しくして
いきますよ♡



好きなのに、好きだから



よかったよ...
麻理子先生...♡



あッ...
くっ...



待っててね…
今クツ
履き替えるから…

う…うん…

ね…ねエ…
本当に卒業したら
その…

ちゃんと
してくれる？
いつまでも
胸だけなんて
イヤよ…



ご心配なく
麻理子先生♡

卒業式の
その日から
毎日いくらでも
してあげますよ♡

★好きなのに、好きだから／おわり

朝・昼・晩
時と場所を選ばずに
ハメまくって
先生の膣なごを
ザーメンでパンパンに
してあげますから♡

！

こ…こらっ！！
大人を
からかうもんじゃ
ありませんっ！！

ジョーダンじゃ
なくてホント
なんだってば
……





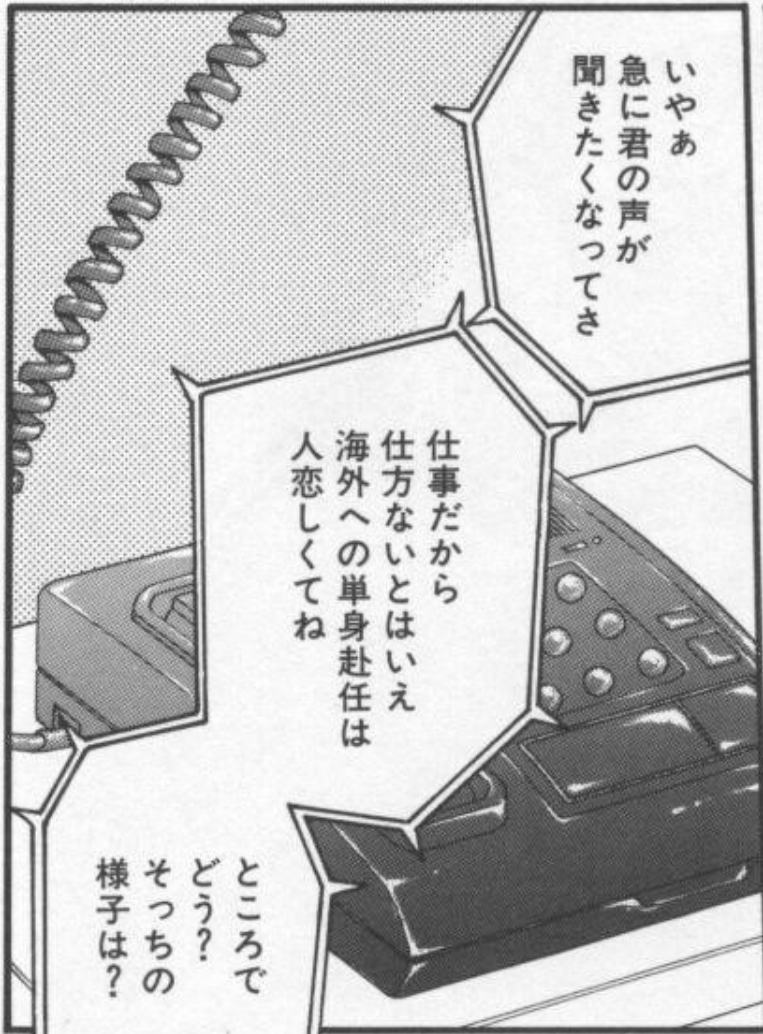




若奥様はお人よし



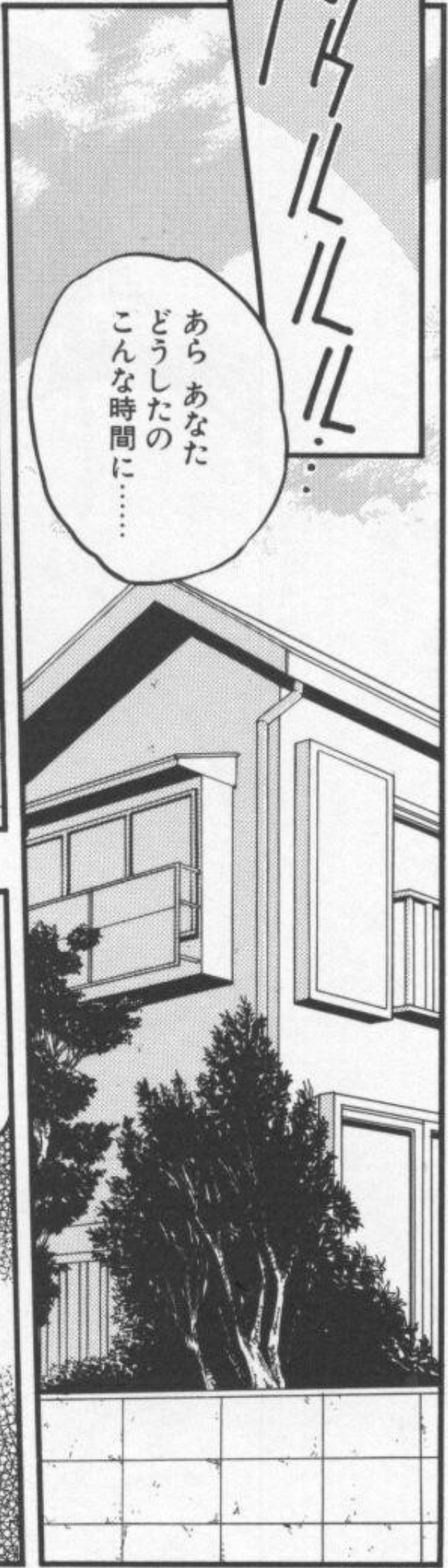
OMUTU



いやあ
急に君の声が
聞きたくなつてさ

仕事だから
仕方ないとはいえ
海外への単身赴任は
人恋しくてね

ところで
どう?
そっちの
様子は?



あらあなた
どうしたの
こんな時間に……



どうって…
何も変わり
ないわよ……

親父はワガママ
言つてない?
桜子さんに
無理言つてないかと
思つてさ

えっ…ええ…
お義父さまも
お変わりなく
元気よ

きよ…今日は
お義父さまの
お誕生日だから

お友達を
家にお招き
しているの……

あつ…そうか
今日は親父の
誕生日か!!

それじゃあ…まあ
今日一日は
親父のワガママに
付き合っただけよ

えっ…ええ
わかったわ…
あなた……

当分日本には
帰れそうもないけど…
体に気をつけてね♡

ええ…
清一郎さんも
元気だね……







わっ…
わかりました
お義父さま!!
やらせて
いただきますっ

でっ…でも
だからといって…
私が出て
いったって…



いいんじや
いいんじや
カケに負けたワシが
野良犬とまぐわえば
いいだけで…

…

しゅんしゅん
ぶい
ぶい
うく



なあに…

こいうことは
言い張ったものの
勝ちじゃて!!

なっ!!

ニヤッ



おう!!
待たせたな
みんな!!

ガッ



それにしても…
あのカケは
杉作さんの
負けじゃろ…

おうおう…
何しろダンナが
ここ一年海外赴任
しちよるからのう

なっ…!?

こ…これは
一体…!?

ホッホッホ…
どうじゃ
連れてきたぞ…

ワシの孫の
桜じゃ…
母親の桜子と
そっくりじゃろ♡

ニヤ…

まだ年端もいかない
子供なので
こ…こんな格好で
失礼します…

みつ…みなさん
はじめまして
百瀬 桜と
申しま…す…

OMUTU

な…何を
言うとするんじや

こっ…これは
あんたの息子の嫁の
桜子さんじゃ
ないかね……

いやいや…
見てのとおり
オムツの取れない
赤ん坊じやて

どうじや？
これでカケは
ワシの勝ちじや!!

なにしろ本人が
そう言うとする
じゃから
間違いない!!

のう
桜……

えっ…ええ……

いやいや…杉さん
これではワシらも
納得できんわ

彼女が本物の
赤ん坊だというなら
ここでその
オムツの中を
見せてもらおうか



そっ…
そんな……

こっ…ここで…
みなさんの前で
なんて……



おうおう
確かにそうじゃ

本物の赤ん坊なら
オムツの中はそうとう
汚れとるじやろ
それを確かめ
なくてはな



わかりました!!
やりますから
泣かないで
くださいっ!!

わっ……

えい
えい



それじゃあ
その
テーブルの上に
横になるんじや

は…はい
お義父さま……

ホッホ……

これは
見物じや
わい……

ホッホッホホ…

おぬしらは
昨日今日
はめたばかりの
オムツだと
思うとるじやろ

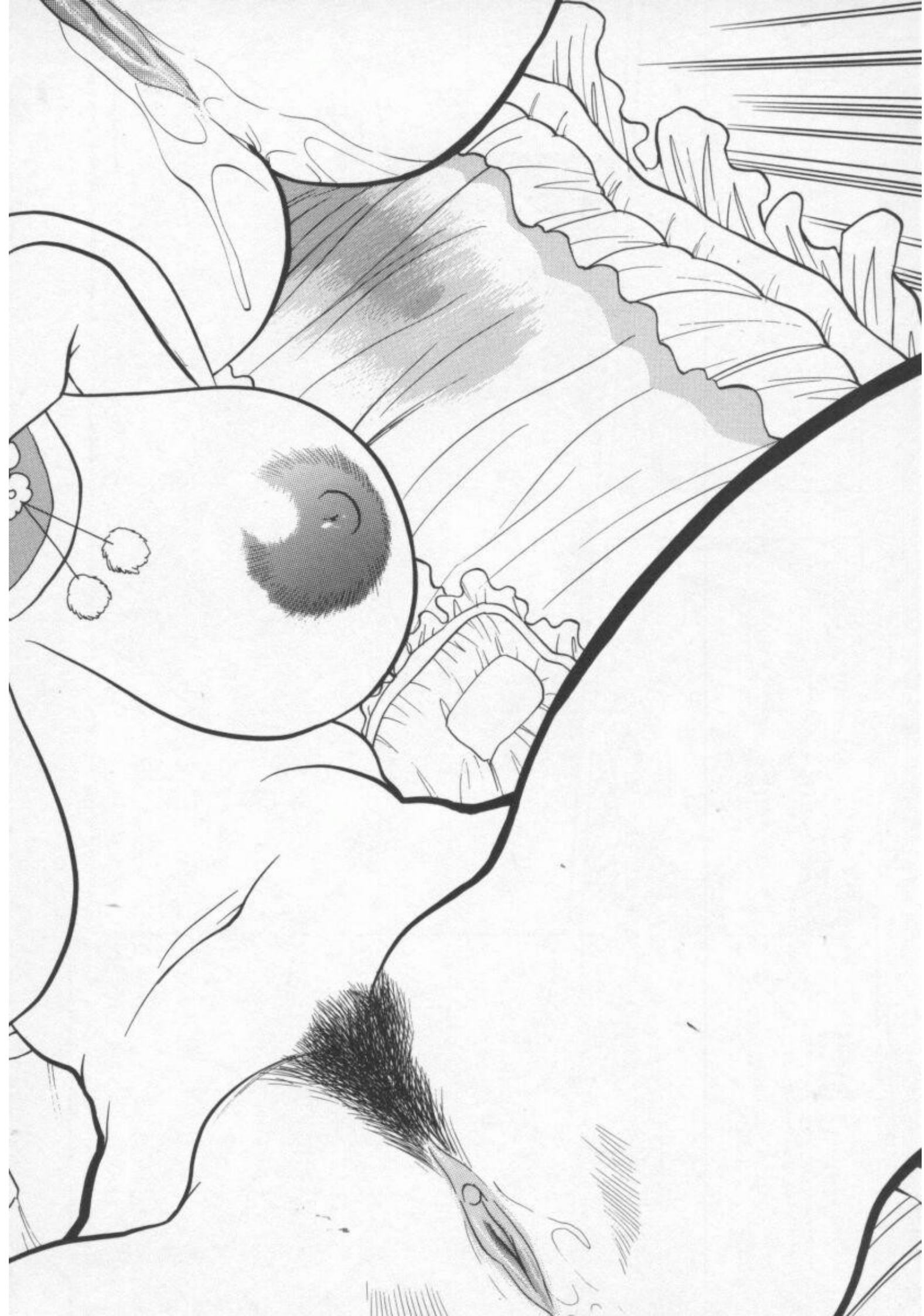
実はこのオムツは
ここ一週間ほど
はめっぱなしでな…

そろそろ
交換しよう
と
思ってた
ところじや

ああ……

どうして
こんなことに……

おおっ……



確かに
この汚れっぷりは
赤ちゃんじゃわい

しかし...
こんなに
いやらしい赤ん坊が
いるかのう...

汚れきった
オムツの中から
蒸れた女の匂いが
プンプンしとるぞ

ああっ...

みなさん...
そんなに
見つめないで...



も…もう
許してください…
お義父さま……

こ…これ以上は
ゆ…許して……



いかんぞ…桜
まだ疑って
おるようじゃ……

こうなったら
最後の手段じゃ
教えたとおりの
みなさんにおねだり
するんじゃ……



わかりましたわ
お義父さま……

ああっ！

天国の
ばあさんや…
今ワシも
そこへ……



赤ちゃんなので
ミルクを
飲ませて
ほしいんです

あ…あの…ど…
どなたかミルクを
いただけませんか…
しょうか……

おいおい
ミルクって急に
言われたって…

あ…!

ホッホッホ…
この赤ん坊は
男のミルクが
大好物でのう…

どうじゃや?
赤ん坊だと認めて
カケの負けを
認めるなら…

皆で
このいやらしい
赤ん坊を
あやし放題じゃぞ

ん?
どうじゃや?

ああん……



おうおう…
これは確かに
赤ん坊の肌じゃ

もちもちして
手に吸いつく
ようじゃわい

口の中も
プリプリ
しとるわ……

待っとなよ…
ここにいる全員の
ミルクを飲ませて
やるからの……

ふあい……

こんな大きな胸
しといて
赤ん坊とはのう……

まったく
一杯くわされた
わい……

それにしても
あのオムツの中の
匂いは強烈
だったのう……

久しく
起たんかった奴も
あの蒸れた匂いで
興奮してしまうたわ
……

ホッホ……

何しろこの
一週間……あの
オムツをはきっ
ばなしたったから
のう……

ほれ……
ザーメンミルク
まみれで喜んで
おるぞ……

ウチのかわいい
赤ん坊は……

あっ…
ああんっ
……

ああ…
いつ…
くあ…

いくっ…
いつ…
くう…

ぬ

ぬ

ほれほれ
好きなか
だけ
イツてい
いぞ…

なんだつ
たら
同時にも
らしたら
どうじゃ
…

赤ん坊の
おもらし
は
恥ずかし
いこと
では
ないぞ…

ああっ
……

いくっ…
いぎぎす
すうう
……



ああああ……

ホッホ…

なんと
ことじゃ 本当
もらしおって……

こうなったら
徹底的なしつけが
必要じゃのう……

は……はい……

お願い……します……

あ…桜子かい？

何しろキミは
人がいいから
親父のワガママに
付き合わされて
るんじゃないかと
思っ…

そっちはどう？
何か変わった
コトはないかい？

えっ…ええ
大丈夫よ…
心配しないで…

お義父さまには
ずいぶんと
かわいがって
いただいて…

近頃では
お義父さまの
お友達にもかわいがって
いただいているの♡

若奥様はお人よし／おわり







聖
母
M



は…早く
そばに来て
もっとよく見せてよ

ママ……

……

よ…陽ちゃん……
お願いよ……

約束どおり
ママの体を
自由にしていいから
……

ずる

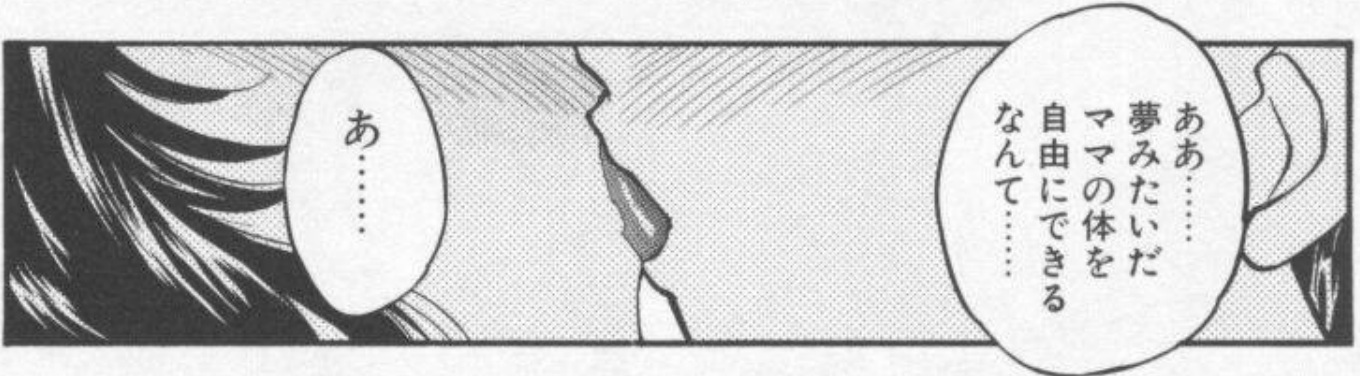
お願いだから
最後の線は
守ってね……

そのかわり
ママのお口でも
オッパイでも
好きな所に
出していいから……



え……ええ……

わかったよママ……
そのかわり
今夜はママの体を
徹底的に
味わっちゃうからねっ



あ……

ああ……
夢みたいだ
ママの体を
自由にできる
なんて……



今夜は
寝かさないよ
ママ……♡

あ……

ダ……ダメエ……

一カ月前……

洗濯物置き場から
私の下着が
よくなるので
不審に思い……

そのことを
たずねようと
部屋のドアを
開けた時……
そこには――

私の下着の
汚れた部分に
自分のモノを押しあてて
射精している
息子の姿があつたのです



よ……陽ちゃん……

ついこの間まで
一緒にお風呂すら
入っていた一人息子が
女の体に興味を持ち
精通もあるというコトに
私は衝撃を受けました



陽……ちゃん……

マ……
ママ……

このままでは
いけない——……
このまま
あわててドアを
閉めてしまったら
……

陽一郎は……今後
私を避けるように
なってしまう……
なんとかしなければ……
そう考えた私は——

だ……

駄目じゃない
陽ちゃん……
ママの下着で
そんなコトしちゃ……

でも
恥ずかしがるコト
ないわ……
自然なコトだもの……

マ……ママもね
陽ちゃんのブリーフで
よくオナニーするのよ……
だ……だからこれで
オアイコね……♡

ズググー……

ああ……
陽ちゃんのブリーフ
……もうこんなに
立派なおスの
ニオイなのね……



は……

息子の罪悪感を
取り除く……
そういう意味では
私のとつた行動は
正解でした……



マ……ママ……

でも……
目の前で
自分のブリーフを
アソコに押し当てて
オナニーしている姿は
陽一郎にとつて……
母親のそれではなく……

十分に
性欲の対象になりうる
女の姿であり……
そして
この日から……



聖母 M



息子の陽一郎は
私への欲望を
あからさまに
みせるように
なってきたのです

マ……ママ……



ねエ……ママ……
ボクも一緒に
入っていい？

え……





わあ……

ママ……
今日は素敵な
パンティ
履いてたんだね



アッ……
アッ



……

夫と離婚して
三年……
むせかえるような
男性のニオイを放つそれは
私にとって
目をそらすことが
できないものでした



陽ちゃん……

ね……
アッ……
ママ……



今日は
ボクがママの体を
洗ってあげるね

え…ええ…



ああ…

素敵だよ
ママの体…

やっ…

ぬる
ぬるる

あ…
ダメよ
陽ちゃん

そんなふうに
こすりつける
なんて…

ヌルッ



あ…ああ

マ…
ママあ……

ぬいゅ



あ……
痛いくらいに
固くなったモノが
……

っ
あ……



陽ちゃん……



ご……
ごめんなさいっ……!!



あ……

ごめんなさい
ママ……

でも……もう
ボク……
ダメなんだ
ママのコト考えただけで
おかしくなっちゃう
……

陽ちゃん……

その時の私は
母としてではなく
……

女として……
息子の陽一郎を
いとしいと感じ始めて
いたのです……

……
わかったわ
陽ちゃん……

その時だけは
陽ちゃんの
ど……どんな
いやらしいリクエストにも
応えてあげるわ

これからは
週一回……ママの体を
自由にさせて
あげる……

で……でも
そのかわり約束して……
最後の線だけは
守るって……

そして……
今日は週に一度の
約束の日……

それじゃ
パンティ脱がすよ
ママ……

え……ええ

最初は
胸などの
ソフトなタッチだけで
射精していた
陽一郎も……

今では
もうそれでは
満足できなくなり
次第に愛撫自体も
直接的なものに
なっていたのです

いり……





今となつては
息子よりも
私の方がこの
約束の日を
楽しみにしているのかも
しれない……

そう……

ふっ……



そうそう
もっと高く……

ふふっ……♡
いいよママ……
ママの素敵なトコが
よく見えるよ

こ……こ……かしら……



ああ……
たまらないよ
ママ……

それじゃそろそろ
四つんばい
なってくれる？



え……ええ……



それじゃ
いくよ
ママ...♡

.....



ああ...っ
気持ちいいよ
ママ...!!

ヒダと
太モモで
しめつけられて
.....

ねエ...ママも
気持ちいい?

あぁ...いやぁ...
こんな...こんな...
こするだけなんて
これじゃ私は...

あっ... ..

んあ... ..



気持ちいいよオ
ママあ……!!

いっ……

あ……あっ……



こんな中途半端に
体に火を
つけるだけなんて
……

いや……
いやあ……
本当は
もっぴ



んっ……

あ……
もうダメだ
ママ……

いっちやうよ
いっちやうう
……

あっ……

ぬ

ぬ



そつ...そんな
ママは
まだ...
.....

こっっっ!!!

あ

.....

はあ.....
はあ.....

よかったよ
ママ.....

待って……
陽ちゃん……

陽ちゃんは
ママと本物の
セックスしたくない？

その時の私は
イクことが
できない欲求不満で
どうかしていたのかも
しれません……

そりゃ
したいけど……

でもそれは
ママがダメって
……

これを……

これをつけて
もう一度
ママを犯して……

本当に……
その時の私は
どうかしていたのです
……



あとわき

どうも. あうら聖見です.
今回のコミックスは. 主に『天魔』に
載った作品を中心に収録して
みました. いかがだったでしょうか?

表題作の『女神の降る里』は
前作の『女神の里』の続編
みたいな形になってます.

前々から『閉ざされた空間での
独自のまり(ルール)』みたいな
ものに注いで興味があつたので
描いてみたのですが...
どうだったでしょうか?

まあ. また何かあつたら. 似たような
感じの作品を描いてみたいと思っ
ています.





ところで、今、このあしがきを
描いているのは師走というか、恐怖の
年末進行の真ん中あたり
しです。あうう...

ふにしろ締切が早くなったり。
いろいろあって大変なのであう〜。
(自業自得ですが...) ㄟ ｼﾞｸﾖﾝ

でも、こうして作品が1冊の
コミックスとしてまじり、読者の
みなさんに喜んでもらえるのなら、
至上の喜びであります。うんこ〜

編集のYさんや、印刷所の方々、
そして読者のみなさんに感謝しつつ、
これから頑張っていきたいと思っ
ています。応援よろしくねっ!

1999. 12. 10. 早朝..

あしがき





女神の降る里

CONTENTS

女神の降る里

第1話	005
第2話	025
第3話	045
第4話	063
第5話	081
鉄拳娘の血が騒ぐ	103
好きなのに、好きだから	121
若奥様はお人よし	139
聖母 M	159
あとがき	180



女神の降る里

著者 あうら聖児

発行者 野田正修

編集者 コミックハウス

発行所 株式会社 茜新社

東京都千代田区三崎町3-6-5 原島本店ビル1F

電話 03-3222-1977

FAX 03-3222-1985

振替 00170-1-39368

印刷 株式会社 光邦

DTP 株式会社公栄社

© SEIJI AURA 2000

Printed in Japan

乱丁・落丁の場合はお取りかえいたします。
定価・発行日はカバーに表示してあります。

AKANE

あひるの聖見



女神の降る里

アカネ コミックス
茜新社



成年
コミック

茜新社



アカネ コミックス

女神の降る里

定価: [本体857円] + 税

2000年2月20日 初刷発行

著者 あうら聖児

発行所 茜新社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-5

TEL.03(3222)1977

FAX.03(3222)1985

振替 00170-1-39368

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

AKANE

あいの聖見
女神の降る里



9784871823890

ISBN4-87182-389-X

C0979 ¥857E



1920979008571

アカネ コミックス

茜新社

定価: 本体857円 + 税



女神の降る里

成年
コミック

茜新社

